

事業所自己評価・ミーティング様式
1. 初期支援（はじめのかかわり）

実施日	平成27年10月2日（18:30～19:00）
メンバー	6人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか？	2	9	1		12
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか？	1	10	1		12
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか？	1	11			12
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか？	1	8	3		12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・初回訪問には時間をかけている。家族や介護者に対して公正な聞き取りや相談援助を行い、アセスメントを実行して、それに基づいてケアプランを実行している。 ・初回の訪問後には毎回申し送りをし、情報は常に共有している。まだ慣れていない人には声を掛けて安心してもらえるように心掛けている。 ・送迎の時にご家族から様子や体調を聞いて朝礼のミーティングで共有して、対応を考えている。 ・情報交換をしたり、資料を見たりしながら話し合いをしている。分からないときは相談できている。 ・初利用の時は話に入りやすいように配慮している。ご本人はもちろん、ご家族にも気遣いをしている。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・ご家族や介護者の希望する支援になっていて、ご本人の希望にはなかなか沿えていない。 ・ご家族となかなか話ができずに思いを感じ取れないケースもある。送迎の時だけでは短い時間なので、不安や思いに気づけていないと感ずることがある。 ・利用開始になったばかりのご利用者に積極的に関わっていない。 ・聞いていた情報と状態が違って、手探りな支援になってしまったことがある。 ・ご利用者の情報を全体で共有できていないことがある。 ・必ずしも全ての情報が揃っていないわけではない。 ・本人や家族のニーズを把握できていないことがあり、不安を受け止めることに欠けている事がある。 ・家族や介護者との関係作りがまだできていない（入社間もない）。 ・いきなりサービスが入ってしまい、サービスを利用する事に慣れるという過程が少ないと思う。 ・初回利用時は気をつけているが、その後の気づきが支援に結びついていない。 	

(どうしてできていないのか？その理由)

- ・サービスの提供が基本になっていて、“その人らしい暮らし”から離れたサービス計画になっている部分がある。時間を作れていない。
- ・気をつけていても、ついつい目の前にあることを(職員が)やってしまい、過剰な支援をしている。
- ・ミーティングまでしなくても情報共有は可能と考えていたが、そうでもないかもしれない。
- ・利用開始前に支援に関するミーティングができていない。
- ・ご利用者、ご家族それぞれの望んでいることが理解できていない。関係作りが未熟であると感じる。
- ・情報が全て揃っているわけではない。急に利用になる人もいる。資料だけでは分からない部分がある。
- ・ご家族とのやり取りをケアマネが主にやっているため。
- ・介護技術や知識に自信がない。
- ・ご家族とやり取りをするノートがあるが、文章だけでは分からない部分がある。
- ・ご本人に認知症があると意思疎通が困難で、本人の思いを汲み取れないことが多い。

改善計画

②必要としている支援ができていますか？

- 最初の段階でわたしの暮らしまとめシートをもっと詳しく書くようにする。また、会話の中で知り得た情報はその職員がシートに記録する。そうすることで”その人らしい“生活を理解して支援につなげる。

③声掛けや気遣い

- 利用前に必ず見学に来てもらう。事業所の様子を見てもらい不安が解消できるように話し合う。まずは訪問で介護職員が接する機会をつくる。

④関係作り

- もっと家族会を充実させる為に、回数を年2回から3回に増やす。また内容をご本人と家族、職員又は職員と家族と分けて開催をする。管理者が計画し、6月、12月、3月に開催する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成27年10月6日(18:30~19:00)

2. 「～したい」の実現(自己実現の尊重)

メンバー 8人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	「本人の目標(ゴール)」がわかっていますか?	2	2	8		12
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	1	5	6		12
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?		4	8		12
④	実践した(かかわった)内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?		7	5		12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">・会話できないご利用者はご家族からの聞き取りなども参考にしてケアプランをたてている。とにかく話を聞くようにしている。・ご本人の希望や家での様子を情報伝達して朝礼のミーティングに反映している。・ご本人の思いを汲み取るように、関るように努力している。実現に向けて努力も重ねている。・発言や行動を記録に残して、やりたい事を把握している。そして、実行している。・“～したい”シートをつくって職員全員が見えるようにしている。・朝礼のミーティングや会議で自分が試したことなどを発言するようにしている。・自分が担当する人の長期目標・短期目標は分かっている。・各ご利用者のケアプランをファイリングして、職員が閲覧できるようにしている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">・目標が分かっても実践できていないと思う。・ケアプランを実践する為の個別対応ができず、全体的なレクリエーションで過ごしてしまうことが多い。・全てのご利用者の短期・長期目標を把握できていない。・ゴール(目標)に向けた支援を各職員が理解できていない。・話ができなかったり、本音を出されないご利用者やご家族など“見えない思い”に気付いていない。・ご利用者・ご家族が、どんなことを期待して事業所を利用しているのか把握できていない。・ご利用者が本当にしたい事よりも、職員がすぐに実践できそうな事にとりかかってしまう。・ご利用者・ご家族の本当にしたいことが汲み取れていない。	

どうしてもできないのか(その理由)

- ・認知症などの病気により意思疎通が難しく思いを汲み取るのが難しい。
- ・できない、むずかしい、とあきらめてしまう。
- ・マンパワー不足。自分の担当で精一杯である。
- ・入社して間もないのでご利用者のことが分かっていない。
- ・ご利用者との関係ができていない。
- ・自分がお利用者の短期・長期目標を理解していないから。
- ・野菜作りなどを短期目標に設定したが上手くつくることができずにご本人をがっかりさせてしまった。作物を扱うのは天候や時間に左右されてしまう。
- ・ご利用者の短期・長期目標や支援方法を理解するようにケアプランの確認ができていないから。

改善計画

①ご利用者の短期・長期目標がわかっていますか？

→ ご利用者の長期目標(ゴール)の一覧表を作成し、1枚で分かるようにする。その紙を職員が常に目にするような場所において置く。

②～したいがわかっていますか？

→ “したいシート”を有効活用する。毎月の会議で担当者が挙げていき、シートを充実させる。また会議で話すので“～したいこと”を職員同士で共有できる。

③日々の関りができていますか？

→ “したいシート”をもとに実現する為のケアプランを会議や朝礼のミーティングで発表し、記録する。担当者が責任者となり、他の職員は協力をする。

④ミーティングでの発言、振り返り、次への対応にいかせていますか？

→ 日々の気付きをきちんと支援経過や“したいシート”に書き留める。決めた事や実践したことはミーティングを活用して適宜確認をする。会議では振り返りや次への対応を担当者が発表する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成27年10月6日(18:00~18:30)

3. 日常生活の支援

メンバー 8人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	1	2	7	2	12
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	4	8			12
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	1	4	7		12
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	5	6	1		12
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	2	8	2		12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・「以前の暮らし方」が分かるように専用の書式を作って、いつでも見れるようにしている。 ・ご利用者の心身の状況や環境の変化などを毎月1回以上、朝礼のミーティングで話し合い、ケアについて考える機会を設けている。 ・ご本人やご家族の気持ちや体調の変化に気付いた時は、記録をしてその都度臨時のミーティングを行い、共有できている。 ・ご本人の状況・状態に合わせたケアを臨機応変に行っている。 ・変化に気付いた時は看護師やかかりつけ医などの医療関係者にも連絡をとって対応している。 ・自立支援となるケアになるように心掛けている。 ・食事内容なども、ご本人の状態に合わせて代えている。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・ご本人の状態変化に気が付くことができない(入社間もなく気付けない)。 ・全てのご利用者について把握しているとはいえない。 ・声にならない声をくみとるのが難しい。 ・個々の暮らし方(生活歴)を理解していない。ミーティングにおいてご本人の訴えを言語化することが共有できていない。 ・10個把握するのは難しい。 	

- ・ご本人からの発言や行動がなければ気持ちや体調変化に気付かない。職員が感じたことなどを記録に残していないので言語化されていない。
- ・職員が気が付いたことや感じていることが共有されていない。

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

どうしてできないのか？(その理由)

- ・支援経過記録に考察が書けていない。ミーティングが上手く活用できていない。
- ・毎月ある会議での話し合いが活発ではない。気付きや感じたことを話し合っ、見えない部分の推測がされていない。
- ・送迎などの短い時間だけではご家族からの聞き取りが難しく、自宅からの生活がよく分からない。
- ・目の前のことで一生懸命で心や時間に余裕がもてない。
- ・日々の関わりが少ない、日々の関りの中から何を支援してほしいのか分かろうとする努力がたりない。
- ・コミュニケーションがとれないご利用者がいる。
- ・職員がご利用者一人一人のことをよく分かっていないから。

改善計画

- ①ライフサポートプランをもっと上手く活用する。
 - 気付きを記録として残す。始めは自分の担当するご利用者を中心にやってみる。情報共有用のわたしの暮らしまとめシートを分かりやすいように色付きの紙にする。用意した紙に直接気付きを書き込んでいく。
- ③支援経過記録や“したいシート”を活用する。
 - 職員が個々でくみとった希望や要望など暮らしの意向を記入する。
- ④⑤ 朝のミーティングで変化や気付きを発信する。
 - ホワイトボードに話し合いたい事を書き込む。毎朝のミーティングで日誌担当者や管理者などが進行役になって話し合いをすすめる。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成27年10月2日(18:00~18:30)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 6人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画

前回の改善計画に対する取組み結果

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?		7	5		12
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	2	6	4		12
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	1	3	8		12
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?		2	7	3	12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 生活暦を書き込む専用の様式をつくって、ご家族に記入していただいている。 送迎の時にご家族と話をしてお宅から何をしておられたか聞いて把握できている。 ご家族への連絡は密にできている。 地域との繋がりが途切れないように地域資源を探そうとしている。 人間関係や地域資源をできるだけ活用して、以前のように暮らせるように働きかけている。 暮らしまとめシートに地域資源を記入して、生活スタイルや人間関係など把握できるようにしている。 今ある関りを途切れないように支援している。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 自宅(訪問)よりも施設(通い)が中心の利用になっている。 利用中の人間関係なども考えて気をつけているが上手くできないことがある。 民生委員までは把握できていない。 通いの時間が増えるほど地域との関係が薄くなってしまおうように思う。 最小限の地域資源しか理解できていない。地域資源を上手く活用できていない。 人や地域によって資源が限られていしまう。 利用していない時の過ごし方がよく分かっていない。 	

どうしてもできないのか？（その理由）

- ・ご家族の主張が勝ってしまう。
- ・人間関係に立ち入るのは難しい。
- ・地域資源で理解しているものもあるが、民生委員までは考えていなかった。独居の方は考える必要があると思っていたが、家族と同居の場合は必要ないと考えていた。
- ・事業所が関ると地域の方々をご本人に声を掛けることをやめてしまわれる場合があるのではないか？
- ・一人ずつの生活を深く見つめていないから。関りの中から資源として考えられる物を記録として残していない。共有していく情報を把握していない。
- ・ご家族と話す機会がない場合は自宅からの様子を把握するのが難しい。
- ・送迎以外にご利用者一人ずつの地域に出かける機会がみつけれられない。
- ・民生委員の方と関る機会がない。
- ・地域との関りをご本人やご家族が拒絶している場合がある。通いが重視されている。

改善計画

①生活スタイル・人間関係を理解していますか？

→ 全員を覚えるのは難しい。基本情報や関りシートを利用して記録した物をいつでも見られるようにファイルに入れておく（おき場所を決め毎日A勤がファイルで管理をする）。

③利用時間以外の生活を把握していますか？

→ 訪問サービスを利用していないご利用者の生活がよく分かっていないので、担当者はできるだけ自宅に訪問させてもらい、自宅や自室での生活も教えてもらう。

④地域資源を把握していますか？

→ 職員は“わたしの暮らしまとめシート”に日々の出来事を記録として残していく。

職員はご利用者と一緒に公民館で行われている事業に参加または見学をする。地域の方との交流を通して地域資源を把握する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成27年10月2日(19:00~19:30)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 6人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	2	6	4		12
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	6	5	1		12
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	6	4	2		12
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	5	5	2		12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・体調や気分に合わせて支援内容を柔軟に変更している。変化についてもすぐに臨時のミーティングができている。 ・地域のイベントにご利用者と一緒に積極的に参加したり、関りを持つようとしている。地域の方からも声を掛けてもらい、オープンな関係が気付かれていると思う。 ・利用の変更などをすぐに対応している。 ・地域を巻き込んで支援しようとしている。ニーズに合わせた支援ができるように日々の関りから考えるようにしている。 ・事業所の近くに住んでいる方は比較的色々なことを頼みやすい。 ・近所の子供などが遊びに来てくれるので利用者さんも喜んでいる。 ・柔軟な対応で長く自宅で暮らせるように支援をしている。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・地域資源の活用が少なく、通いが中心の利用となっている。 ・対応はしているが、自分自身が完璧にできていないと思えない。 ・地域資源の把握が十分ではない。 ・記録として残せないことが多い。朝礼のミーティングで確認できていないことがある。 ・ご本人よりもご家族の意向が重要視されてしまうこともある(ご本人の意向に沿っていない場合がある)。 ・事業所から離れると地域資源の把握ができていない。 	

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

どうしてできないのか？(その理由)

- ・ご家族の意向によりオープンにできない場合もあって協力を依頼できないこともある。
- ・資源の把握が十分ではない。
- ・ケアが細かいところまで行き届いていないと感じる。
- ・地域に出向いていない。
- ・気づきを支援経過記録に残すことを忘れてしまう。支援経過記録やミーティングの大切さや重要性を理解できていない。
- ・勉強不足。
- ・サービスを利用することで地域の行事などから遠のいてしまうことがあり、地域資源の活用がどんどん衰退してしまう。
- ・意思疎通が難しい場合は、ご本人の意向よりもご家族の意向が中心となっているから。
- ・通いが中心で、ご利用者が住んでいる地域へ出向いていないから。

改善計画

①地域の資源を使って支援していますか？

- 職員は空き時間などを利用して地域にある公民館で催事を調べる。担当職員は計画を立てて地域へ出掛ける。
- 事業所でイベントを開催して、ご家族も参加できることを地域連携係が企画をする。また地域の方にも参加やお手伝いを回覧板などで呼びかける。

③「変化」について共有できていますか？

- 計画作成担当者は自宅からの生活を理解するために、訪問サービスも適宜計画をする。また、施設の職員はそこで気付いた事や予測したことを朝のミーティングや毎月の会議で確認する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 27 年 10 月 18 日 (18 : 00 ~ 18 : 30)

6. 連携・協働

メンバー 8 人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関 (医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所) との会議を行っていますか?	1	7	1	3	12
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?		4	1	7	12
③	地域の各種機関・団体 (自治会、町内会、婦人会、消防団等) の活動やイベントに参加していますか?	2	5	2	3	12
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	3	7	2		12

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">・他のサービス機関とのサービス担当者会議はできている。・困難事例は包括に相談してサービス担当者会議に参加してもらっている。・施設行事で地域の子供達が来れるようにしている。またその時に地域の人にも手伝ってもらえるようにお願いをしている。夏休みなどに子供が遊びにきたりすることがある。・地域の行事には出来るだけ参加するようにしている。また呼んでもらっている。・地域の方が花や余り物を分けてくださる。また以前作った作品なども提供してくれる。・地域の防災訓練に参加させてもらっている。また一緒に訓練内容などを考える機会をもらっている。・個人としては自治体の会議に参加していないが、事業所としては参加していると思う。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">・サービス機関や各種団体の会議があっても他の予定が入ってしまい、参加できないことがある。またそのかわりに他の人が参加するということができていない。・子供が来ることはあるが、それ以外の人に来るのは珍しい。・イベントや行事の把握。・自治体の会議などいつあるのか知らない。・他事業所との関わりがない。	

どうしてもできないのか？(その理由)

- ・働きかけをしていない。
- ・自治体のことがよく分からない。
- ・施設と言う壁があるのではないか？
- ・自分の意欲が不足しているから。自分から地域への働きかけができない(時間がないと言ってしまう)。
- ・(会議のことを)周知されていない、会議は出席する人が決まっていて、自分は機会がない。
- ・他事業所との接点がない。

改善計画

②自治体や包括支援センターとの会議に参加していますか？

→ 管理者が情報を収集して、職員に情報を提供する。休憩室に掲示して、職員は情報を見て参加する。

③各種機関・団体の活動やイベントに参加していますか？

→ 地域連携係は地域のイベントや行事を把握できるようにカレンダーを用意する。書き込みをする担当を決めて、担当者がカレンダーに書き込んでファイルで掲示する。

④登録者以外の高齢者や子供などの地域住民が事業所を訪れますか？

→ 地区の公民館を訪ねてサークル活動をしている人達と交流を深める。そうした交流の中から垣根のない関わりができるようにする。関わってもらえた人などは起案書に情報を残しておく。その情報を使って再度交流できるようにしておく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 27 年 10 月 18 日 (18 : 30 ~ 19 : 00)

7. 運営

メンバー 8 人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?	1	5	5	1	12
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	4	7	1		12
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	2	9	1		12
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取り組みを行っていますか?	2	8	2		12

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">・地域の行事に参加することはもちろん、地域の方も参加出来るような行事を企画している。・職員同士で言い合うことができている。苦情などにもすぐに対応できている。・気が付くことがあれば言える環境である。職員間には比較的意見が言いやすい環境である。・ご利用者やご家族からの意見は真摯に受け止め、適切に現場へ反映するように日々努めている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">・本当の意味での事業所の在り方を言えていない。・苦情を運営に反映できていない。・地域の方からの苦情全ては把握できていないのではないかと。・積極的に地域と協働した取り組みを行っていない(自分自身が)。・事業所のあり方についてもっと意見を言っていきたい。・イベントを考える程度で環境づくりなどの提案や話し合いなどはできていない。	

どうしてもできないのか？(その理由)

- ・言いにくい。
- ・苦情を運営推進会議で報告するだけで終わっている。
- ・自分の気が付かない。
- ・ご利用者の中に大きな声で叫ぶ人がいて、屋外にも聞こえるので、近所の方は苦痛になっているのではないかと思う。
- ・自分自身が地域の方をよく分かっていないので積極的に取り組んでいない。
- ・事業所についての意見を考えた事がなかった。
- ・話し合いの場を設けていなかった。
- ・役割分担の中で自分の役割は事業所内が中心なので、そちらを優先している(時間に余裕がない)。

改善計画

①事業所の在り方について

- 運営についてはよく分かっていないので勉強する。職員一人一人が重要事項説明書を読んで説明できるようにする。

③地域からの意見や苦情を反映していますか？

- 運営推進会議をもっと活用する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 27 年 10 月 18 日 (19 : 00 ~ 19 : 30)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 8 人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修 (職場内・職場外) を実施・参加していますか		9	2	1	12
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	1	4	3	4	12
③	地域連絡会に参加していますか	1	1	2	8	12
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか		4	8		12

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">・ 毎月の所内研修を計画している。・ リスクマネジメントには特に気をつけている。・ 事故を予防できるように意識している。・ 所内研修に参加できない時も記録や資料をみて勉強している。・ 痰吸引の研修などに参加した。・ 社外研修に参加した人の記録などで内容を把握して共有している。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">・ 所内研修以外の研修に自主的に参加していない。・ リスクマネジメントについて発言していても、予防策などを実行できていない。・ 運営推進会議、地域連絡会などに参加していない。・ 資格取得、スキルアップしていない。	

どうしてもできないのか？(その理由)

- ・時間をつくれな(日々の仕事に追われてしまう)。
- ・自分以外の職員・管理者が参加している。
- ・親の介護がある。
- ・研修の情報を知らない、どうやって知るのか分からない。
- ・入社してまもないので余裕がない。

改善計画

②資格取得やスキルアップのために研修に参加できていますか？

- 管理者が情報を収集して、休憩室に掲示して職員へ情報を知らせる。職員はその中から選んで研修に参加することができる。

③地域連絡会に参加していますか？

- 県連絡会の研修会や、鳥取市小規模多機能ケア会議主催の研修会や意見交換会、こやま圏域の意見交換会などに介護職員も参加する
- 計画作成担当者は職員が地域の人と話す機会を得る為に、訪問サービスを増やす。外出支援で施設の近くで交流する機会を作ることで話す時間を持てるようにする。

④リスクマネジメントに取り組んでいますか？

- 職員同士で指摘をする。ヒヤリハットを活用し、指摘事項は記録に残し、話し合う。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成27年10月6日(19:00~19:30)

9. 人権・プライバシー

メンバー 8人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	身体拘束をしていない	7	4	1		12
②	虐待は行われていない	9	3			12
③	プライバシーが守られている	1	11			12
④	必要な方に成年後見制度を活用している	5	7			12
⑤	適正な個人情報の管理ができている	3	9			12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・拘束や虐待などの研修を受けて、“しない”“させない”を徹底している。 ・制度を利用して必要な方は活用(成年後見など)している。 ・法律に従って情報を管理している。 ・一人一人小さな怪我にいたるまで観察できている。(ミーティングが活用できている)。 ・玄関に鍵をかけない、徘徊は見守りを基本として、行動を妨げないように心掛けている。 ・薬が必要以上に作用しないように専門医に働きかけている。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・大きな声をだしてしまうご利用者への対応が難しい。(個室に案内するのは身体拘束になるのか?) ・安易な写真を撮ってしまうことがあった。 ・排泄介助の時にプライバシー保護ができていない事があった。 ・拘束するつもりがなくても、スピーチロックで行動抑制をしてしまうことがあった。 ・建物の構造上、防音機能が弱いと思う。 ・トイレにノックなしで入ってしまうことがある。 ・構造上、完全な個室がないと感じる(障子で透明な部分がある)。 	

どうしてもできないのか？(その理由)

- ・大きな声をだしてしまうご利用者は大勢のご利用者に「うるさい」と言われてしまうので、声がおさまるまで個室へ行ってもらえることがある。
- ・排泄介助の際に手際が悪くて時間がかかってしまった。
- ・ご利用者の傷を記録のために撮影をする機会があったが、事業所のカメラではなく、安易に自分の携帯電話を利用してしまった。指摘されてその場で削除したが、配慮が必要であると気が付いてなかった。
- ・あせってしまい、声掛けで外へ出ることを思いとどまってほしいと思った。
- ・物を取りに入ろうとしたり、急いでプライバシーへの配慮に欠けることがあった。

改善計画

①身体拘束について

- スピーチロックをしない。認知症がある人の言葉に耳を傾け、話し終わるまで待つ。席を立つ人の行動を抑制しない。研修で身体拘束について勉強をする。

③プライバシーについて

- トイレでの介助は時間がかかってしまうことがあらかじめ分かっているので、必要になる物は始めに準備しておいて、短時間で済むようにする。(例 着替えて露出をさけるようにバスタオル準備等)排泄介助に関するような物品はトイレに近い場所に収納をする。
- トイレを使用していない時は少し扉を開けて、電気を消す。灯りで使用・不使用を確認する。

⑤個人情報の管理について

- 携帯電話やパソコンなどの取り扱いに気を付ける。取り扱いは事業所の方針や法令を確認し、情報の持ち出しは絶対に禁止する。